

令和の再発見！

長崎歴史文化博物館では現在、特集展示「長崎奉行所展」が開催中です。本展覧会では、展示に先立つ調査研究の過程から新たにわかった事実についてもご紹介しています。是非、ご取材の程、宜しくお願い申し上げます。

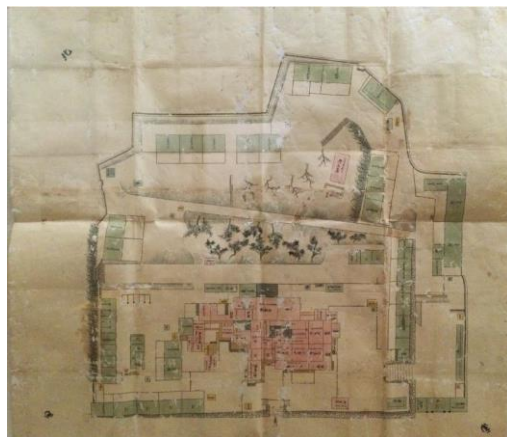
諏訪神社所蔵 《長崎奉行所絵図》

長崎奉行所を描いた絵図は、およそ十数種が知られていますが、そのほとんどは文化年間(1804～1818)以降のもので『長崎諸官公衙図』『長崎諸役場絵図』(いずれも当館蔵)などが知られています。また、その他にも18世紀後半頃の状況を描いたとされている資料が確認されています。

この度、本展に先立つ調査研究によって、長崎諏訪神社に伝わる二種の絵図が18世紀初頭以前の立山役所と西役所を描いたものであることが確認できました。すなわち地元に残るものとしては唯一、享保年間の改造前(1717年以前)の立山役所の敷地と建物の配置を伝える絵画ということになります。

これらは近代まで長崎奉行所の絵図として認識されていたようですが、その後は奉行所図としての認識が失われていた可能性が高く、最近まで諏訪神社の宮司の屋敷一帯を描いたものと考えられ、そのように紹介されていました。

博物館建設前の発掘から15年以上かけて少しずつ真実がわかり始め、今回の「令和の再発見」につながりました。



《長崎奉行所 立山役所絵図》



《長崎奉行所 西役所絵図》
※両図とも鎮西大社諏訪神社所蔵

現在発掘中の
県庁跡地にあった
長崎奉行所 西役所の絵図

特集展示「長崎奉行所展」

会 期：2021年2月17日(水)～5月16日(日) ※休館日：3月15日(月)、4月19日(月)

会 場：特集展示室(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時 間：8:30～17:00(最終入館30分前)

観 覧 料：常設展観覧料でご覧いただけます(大人630円、小中高生310円 ※県内小中学生は無料)